

釧路工業技術センター NEWS

2024 VOL.44

発行

公益財団法人 釧路根室圏産業技術振興センター

〒084-0905 釧路市鳥取南7丁目2番23号 TEL:0154-55-5121・FAX:0154-55-5161
URL:<https://www.senkon-itc.jp/>

令和6年7月発行



HP



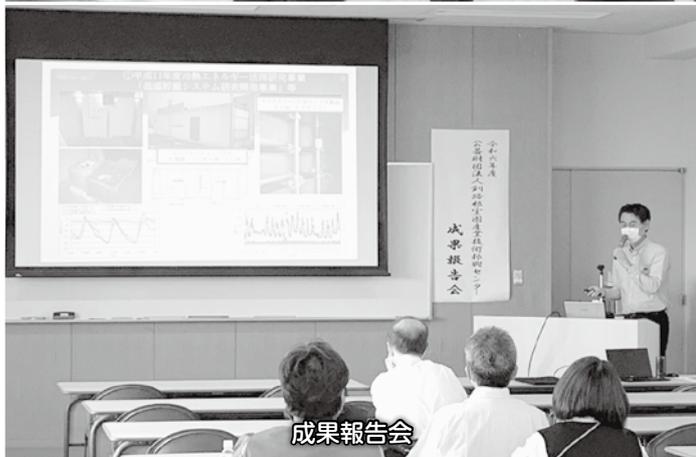
Facebook



モクコレでの釧路ブース



くしろデジタルEXPO2024



成果報告会



溶接研修会

CONTENTS

■ 特集企画

- P2・・・ 令和5年度くしろの地域資源を活用した木製品開発委託業務の報告
- P3・・・ 地域企業の先端技術人材確保・育成等支援事業

■ 情報エントランス

- P3・・・ 地域ではじまる「中小企業DX支援事業」の紹介
- P4・・・ くしろデジタルEXPO2024の開催
「令和5年度 中小企業IoTスモールスタートモデル
形成事業補助金」の成果報告会
釧路工業技術センター 成果報告会開催
- P5・・・ 令和5年度に開催した講習会の紹介
知的財産権個別相談会の開催

- P6・・・ 釧路高専生が取り組む地域の課題、起業家工房
「Otanoshike BASE」の新設

■ 地域の元気な企業紹介

- P6・・・ 札幌ベニヤ株式会社 恋問工場
- P7・・・ 株式会社積水化成品北海道 釧路工場/道東営業所
有限会社茶路めん羊牧場

■ その他

- P8・・・ センター長コラム
会議室等の貸出について
INPIT北海道知財総合支援窓口釧路サテライトについて
令和5年度相談受付・利用状況

特集企画

令和5年度 くしろの地域資源を活用した 木製品開発委託業務の報告

前年度からの継続で、「くしろ木づなプロジェクト」の取り組みの一環として、地元企業の若手による商品開発の検討を行いました。円卓会議関係企業と市内企業の若手が中心となり、主に釧路のカラマツを使った商品開発の検討を行いました。展示会・イベントへの出展では、前号で紹介した「RISING SUN ROCK FESTIVAL」(石狩市)の他、地元や札幌、東京、海外で地元企業の方々と一緒に、釧路地域の木材業界でできることを積極的にPRしました。

成果としては、音楽フェス向けに商品開発した「カラマツ折り畳み椅子」や「オペラグラス」と前年度に開発した「ネームサイン」はどの展示会でも評判がよく、また一緒に持って行き販売した釧路で製作された木製小物類も日本国内だけではなく、台湾でもとても喜ばれました。

令和6年度は、地元釧路で5年ごとに木に関係する企業が集まって開催している「くしろ木づなフェスティバル」が開催されます。地域の方々に地域材のことについて、知って、木に触れて、木を好きになってもらうことが目的の、業界として大事なイベントです。当センターとしては、今まで企業の方々と一緒に取り組んできた成果を発表したいと考えています。

○令和5年度出展イベント

- 8.11-12 RISING SUN ROCK FESTIVAL 2023 in EZO (石狩)
- 8.18-20 JAPAN ReWOOD (東京)
- 8.19 別保パークフェス (釧路)
- 11.3 くしろ子育て応援フェスティバル (釧路)
- 12.7-10 台北国際建築建材及び産品展 (台湾)
- 1.11-12 WOODコレクション (モクコレ) 2024 (東京)
- 2.21-22 HOKKAIDO WOOD展 (札幌)

○「くしろ木づなフェスティバル」開催案内 (予定)

- 【テーマ】 森と共にくしろの未来
～つなげる「木づな」15周年～
- 【会 期】 2024年(令和6年)10月26日(土)～27日(日)
- 【開催時間】 10:00-16:00 (最終日のみ15:00まで)
- 【会 場】 釧路市観光国際交流センター
(北海道釧路市幸町3-3)
- 【入 場 料】 無料
- 【主 催】 くしろ「木づな」フェスティバル実行委員会
(釧路市、釧路森林資源活用円卓会議)



台北建材展での
釧路地域ブースの様子



HOKKAIDO WOOD展での
展示の様子



モクコレでの
釧路ブースの様子



前回(2019年)のくしろ木づなフェスティバルの様子

特集企画

地域企業の先端技術人材確保・育成等支援事業
【北海道補助、釧路市委託】

技術力・生産性向上及び専門人材確保・定着事業2年目終了(活動報告)

令和5年度の技術支援コーディネーター5名が行ってきた活動について報告します。

○企業のニーズ、課題の把握・相談対応等

企業等訪問件数：134件、相談対応件数：160件

○企業が必要とする先進技術情報等の収集活動

各種展示会：9先、各種研究会、セミナー等：48先

○技術開発実践プロジェクトの実施

テーマ毎に課題解決のサポートを行いました。

①食品工場における製品の計量・袋詰め工程の改善検討

主に省人化のため、生産性向上に取り組んでおり、特にチーズの計量、袋詰工程に着目し改善を進めています。

②果菜類の接ぎ木作業の省力化検討

穂木用治具を中心に検討し、新たに試作した治具を生産現場へ持ち込み、カット精度や使い勝手、安全性などを確認しました。

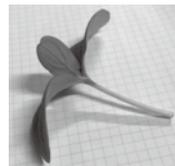
③生ウニ冷凍技術の検証

冷凍解凍しても色変わりや身くずれをおこしにくい、最適な生ウニ冷凍プログラムを検証し、冷凍耐久試験もあわせて実施し、冷凍保存ができることを確認しました。

○生産性向上のための人材育成事業

『ものづくり基礎技術セミナー2023』（北海道機械工業会主催）、『Sier's Day in 北海道(釧路)』（日本ロボットSier協会主催）を主催者と連携して実施しました。

○令和6年度も技術支援コーディネーターが、あなたの会社の生産性向上を応援します！



「果菜類の接ぎ木作業」
接ぎ木苗



「生ウニ冷凍技術」
冷凍解凍したウニ

情報エントランス

地域ではじまる「中小企業DX支援事業」の紹介

地域の中小企業ではDXの認知不足や人材不足などの理由により、中々取り組みが出来ていないのが実情かと思えます。しかしながら、このままの状態では、効率の低下を招き、また、生産性の向上が期待できませんので、DXを実施することが必要不可欠とも言われております。

そこで、(一社)釧路地域DX推進協会では、釧路市および近隣の中小企業に対し、企業の経営者層の意識改革や社内DX担当者を育成することで、自社のDX検討や実現に向け加速を図るとともに、より踏み込んでDX化を希望する企業に対し、外部の専門家などを活用し、外部視点で経営者層と対話を行うことで経営ビジョンの明確化等の一助を行うことで企業のDX推進を図ることを目的とした事業を実施し、当センターでは本事業推進の支援を進めて参ります。

<事業概要>

(1) 経営者と社内人材の双方に向けての人材育成セミナー

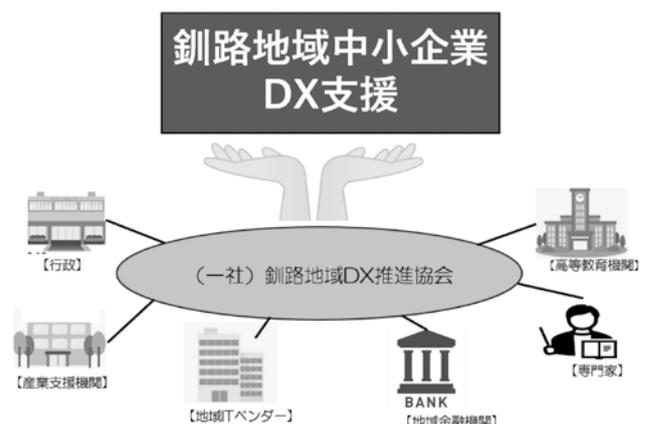
①経営者向け：自社業務でのDXの必要性について理解してもらう。

②社内人材向け：社内でDXを推進する人材を育成する

セミナーやワークショップを開催し、DXに取り組む環境を整える。

(2)DX導入に向けた伴走支援

DXに取り組意欲のある企業の支援を外部専門家等の力を借りて実施する。



くしろデジタルEXPO2024の開催

地域のデジタル普及を目的とした「くしろデジタル EXPO2024」が2024年2月22日(休)に開催されました。(一社)釧路地域DX推進協会の主催で、当センターは企画段階から協力などを行って参りました。

本展示会は、協会の会員や関係企業が持つ最新技術や製品のソリューションを紹介する場として、多くの来場者を迎えることができ、また、地域のDX促進や情報収集の場を提供し、出展企業および協会の地域認知度向上にも貢献することができました。

特に注目を集めた講演会では、「釧路発のDX! 企



業リーダーによる取組紹介」と「更別村スーパービレッジ構想」がテーマとして取り上げられ、地元企業のリーダー3名が具体的な取り組み事例を発表しました。参加者からは高い評価を受け、地域のDX推進に対する関心が一層高まったと感じました。



当日の会場の様子

「令和5年度 中小企業IoTスモールスタートモデル形成事業補助金」の成果報告会

当センターでは、(一社)釧路地域DX推進協会が実施する標記事業に協力し、事業周知から事業者へのヒアリングなどを行って参りました。

昨年度採択された2件の成果報告会が、2024年5月24日(金)に開催されましたので、ご紹介いたします。

事業名: 人感センサー活用によるリアルタイム空席状況確認システム&関係人口を増やす利用者データ活用事業

事業者: 株式会社うつくしろ

内容: 施設内に設置したセンサーにより、リアルタイムで空席状況の把握に役立つシステムを構築

事業名: AIカメラ及び券売機データ収集によるコストの適正化とサービス向上への取り組み

事業者: 株式会社ウエルシア

内容: AIカメラシステムで、駐車場の混雑状況の把握・分析、来店者へ案内表示やデータの収集・分析などを行うシステムを構築

本事業は3か年実施し、昨年度が最終年となり、釧路地域DX推進協会では計7件の事業を支援しました。これらの成果は、今後実施するDX支援事業につながるよう取り組んでいきたいと伺っております。



報告会の様子

釧路工業技術センター 成果報告会開催

当センターの事業化支援等の取り組みや事業成果を広く普及することや地域の皆様に一層のご理解をいただくことを目的に、各技術職員が取り組んできた4テーマについての成果報告会を、2024年7月8日(月)に開催いたしました。

改めてご参加いただきました参加者の皆様にお礼申し上げますとともに、本事例報告が地域産業の活性化の一助となります様、引き続き活動してまいります。本報告会の発表テーマは次の通りです。

「再生可能エネルギーの取り組みの紹介」

発表者: 原田 隆行

「技術者向け研修会の紹介」

発表者: 日戸 光輝

「化学分野の取組紹介」

発表者: 廣澤 瑞保

「くしろ木づなプロジェクトの新たな試み」

発表者: 瀧本 文一



成果報告会 会場の様子

令和5年度に開催した講習会の紹介

企業、団体からの要望により、技術力強化を目的に当センターにて以下の講習会を開催しました。

DX 推進リーダー養成講座 講師 (株)サートプロ 平鹿 一久 氏	開催日 R5.11.8・15 受講者数13名	DXスキルを有する講師より基礎的な内容から成功のポイントを分かりやすく解説してもらい、DX推進リーダーの役割を果たす知識を身に付けることを目標にセミナーを実施しました。
溶接研修会 講師 コベルコ溶接テクノ(株) 安田 佑介 氏・小林 延行 氏	開催日 R6.1.30・31 受講者数7名	各技術者の希望する内容に合わせたアーク溶接、半自動溶接、TIG 溶接について実習を行いました。
EC 活用ワークショップ 講師 中小機構 中小企業アドバイザー 高杉 透 氏	開催日 R6.2.5 受講者数19名	中小機構、釧路信金、釧路地域DX推進協会との共催で実施しました。ECの基礎セミナー、商品の写真撮影・商品ページを作成してのECサイト構築体験、Instagramを使った集客方法をワークショップ形式で行いました。
3D プリンター活用実践セミナー 講師 (株)札幌立体データサービス 田村 彰浩 氏 ジェービーエムエンジニアリング(株) 白原 直樹 氏・崔 秀亨 氏	開催日 R6.2.8 受講者数12名	3Dプリンターを活用したものづくり事例についての講演の他、3Dプリンター造形品の展示、3Dプリンター・3Dスキャナの実機デモを行いました。



DX推進リーダー養成講座



溶接研修会



3Dプリンター活用実践セミナー

知的財産権個別相談会の開催

当センターでは、今年度も知的財産権に関する個別相談会を開催致します。今年度は、内島特許商標事務所 代表 内島裕弁理士によるオンライン相談会と INPIT 北海道知財総合支援窓口の相談員による出張相談会になります。どちらも相談は無料です。特許や商標、意匠など、知的財産権に関するお困りごとがございましたら、問合せ先までご連絡をよろしくお願い致します。なお、それぞれの相談会の問合せ先が異なりますので、ご注意ください。

《オンライン相談会》

開催日：随時受付
 問合せ：釧路工業技術センター TEL 0154-55-5121

《出張相談会》

開催日：9月17日(火)、11月19日(火)、令和7年1月14日(火)、3月18日(火)
 時間：13時から16時まで
 会場：釧路工業技術センター 会議室
 問合せ：INPIT 北海道知財総合支援窓口
 (一般社団法人北海道発明協会)
 TEL 011-747-8256
 E-mail chizai@jiii-h.jp



釧路高専生が取り組む地域の課題、起業家工房「Otanoshike BASE」の新設

釧路工業高等専門学校 地域共同テクノセンター長
創造工学科 電気工学分野 教授 千田 和 範

地域や地元企業などが抱える社会的課題を解決するための能力育成を目指したアントレプレナーシップ教育が高専や大学で重視され始めています。特に、高専生が培った「高い技術力」「社会貢献へのモチベーション」「自由な発想力」の強化による人材育成の加速が求められており、令和5年度から「高等専門学校スタートアップ教育環境整備事業」が全国高専の取り組みとして始まりました。

本校では、学内のアントレプレナーシップ教育の拠点として起業家工房『Otanoshike BASE』を新設しました。この施設は学年・分野を超えて学生の自由な発想

で新しい価値を創出する活動の場となり、必修科目「複合融合演習」等により地域課題の解決に全学的に取り組みます。また、その活動を通して学生には社会貢献への「Ambitious（高い志）」の醸成が期待されています。この課題解決活動の手段を提供するため、工房内には図の様な蛍光X線分析装置などによる釧路地域環境分析システム、半導体製作に関わるマスクレスフォトリソグラフィ装置、深層学習や画像処理を担うAI計算サーバーなど本校の専門分野の特色にあわせた設備を設置し、学生の自由な創造活動をサポートしています。

今年度からは、常設組織としてアントレプレナーシップ戦略室が学内に発足し、次代を担う釧路高専生の教育活性化を実現していきます。



釧路地域環境分析システム



大型レーザーカッター



教育用協調ロボット

地域の元気な企業紹介



札幌ベニヤ株式会社
恋問工場

〒088-0562 白糠郡白糠町恋問 6-1-7
TEL : 01547-5-2136 FAX : 01547-5-2138

当社は昭和23年設立の建材メーカーです。国産材合板や化粧合板、フローリング床材などを製造販売しています。創業以来、道東地区に生産拠点を構え『高度な技術と信用第一』をモットーに、様々なニーズに対応するため、原木から最終製品までの『一貫生産』と『オーダーメイド生産』で、北海道を中心とした天然木を使用した製品を作り続けています。

今回、当社の製造技術を活かして「避難所用合板ベッド」を開発しました。

これからも木製品を通した、新たなライフスタイルの提案を行っていきます。

【避難所用合板ベッドの特徴】

- 強度があり、リユース可能→湿気に強く、繰り返して長期間使用できる
- 組立時間が速い→組み立てが簡単で、かかる時間は約5分
- 高さが低く安全→ベッドの高さ300mmで、落ちてもし怪我をしにくい
- 収納スペースがある→貴重品や食料、身の回り品の収納が可能で安心
- パーテーション付き→周りを気にせず安心して睡眠を取ることが出来る



サイズ1100×520×125mmでコンパクトに収納



貴重品等の収納可能



ベッドのサイズ
2000×910×310mm

- ヘッドボードにもなる梱包→段ボールの置き場所の問題も解決
- コンパクトに収納→梱包サイズが小さいので、少ないスペースで保管可能

株式会社積水化成品北海道 釧路工場/道東営業所

〒084-0925 釧路市新野 24-1052
TEL: 0154-57-4442 URL: <https://www.sekisuikeisei.com>

私たち株式会社積水化成品北海道は積水化成品工業の100%出資会社として千歳を本社とし、千歳と釧路に工場を千歳・釧路・旭川の3拠点に営業所があります。発泡スチロールをはじめ保冷材、保冷袋やフルーツトレイ、ライトロン等の緩衝材など保冷保温の輸送資材をメインに生産販売を行っております。

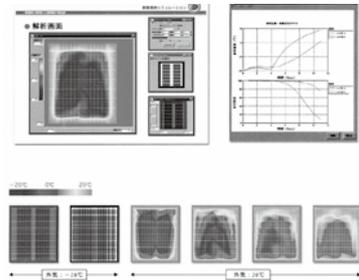
昭和54年に釧路工場稼働、当時日本一の水揚げを誇る釧路を道東の拠点として発泡スチロール箱の生産を行っており、地域の皆様とともに成長しております。現在は魚函以外にもブロッコリーなどの農産箱、加工品やアイスなどを輸送するギフト箱も生産しています。

発泡スチロール箱とはガスの入った原料を金型に入れ、熱を加えて膨張させて冷やして安定させたものとなります。約98%空気できており発泡箱の厚み分空気の層が外気温を遮断し保温効果を継続させます。原料はわずか2%の省資源な素材です。

積水化成品ではSDG'sに対応したリサイクル原料使用の製品も生産しております。2024年輸送問題にあ

たり温度管理の徹底はより厳しくなるものと思われませんが、この面においてもお力になれるかと思えます。

今後、異業種の方々や別の素材等とも連携し、釧路から今までに無かったものを発信させていければ面白いと思っております。



温度シミュレーションから設計へ



切削加工でサンプル作成



リサイクル原料を使用した
発泡スチロール保冷箱

有限会社茶路めん羊牧場

〒088-0342 白糠郡白糠町茶路基線 88-1 TEL: 01547-2-4623
FAX: 01547-2-3546 URL: <https://charomen.com>

昭和62年に白糠町茶路で「茶路めん羊牧場」を開設しました。当時35頭で始めた羊は現在約900頭にまで増えました。平成2年には食肉処理業を取得し、羊肉の販売を開始しました。そして平成27年には「レストランCuore」を開設し、羊と地場食材を生かした料理を提供しています。

当社は、「羊一頭を余すところなくいただくこと」をモットーに、「土-草-羊の連携」を大事にして、できるだけ国産の飼料や地元チーズ工房のホエーも用いて、羊が健康でいられるように努力をしています。牧場内では繁殖・育成・肥育を一貫して行い、屠畜後の枝肉、内臓は自社で処理して、枝肉から部位別のパーツ、内臓までをニーズに応じて飲食店へ卸し、ご家庭で手軽に羊料理を楽しんでいただけるように各種アイテムを少量パックでネット販売し、ソーセージやパスタソースなどの加工品も揃え、また羊毛・毛皮・羊脂・骨までを使いやすい商品にすることにも取り組んでいます。現在、羊毛から作った靴下・寝具、毛皮ムートン、羊脂から作った石鹸等を販売して

います。今後はそれぞれの分野を得意とする人とのネットワークの中で商品開発や販路拡大を行っていきたいと思います。現在羊毛に含まれるラノリンの活用にも取り組んでいます。



武藤浩史代表取締役



牧場の様子



当社の羊肉を使った料理
(レストランCuoreにて提供)

センター長コラム 「自他共栄」

釧路工業技術センター長 草苅敏夫

日本発祥の武道の一つである「柔道」の創始者と知られる嘉納治五郎先生の有名な言葉に「自他共栄」があります。相手を敬い、感謝をすることで互いに信頼し、助け合う心を育むことで他人と共に栄えある世の中にするという意味が込められているようです。

日本は昔から地震などの自然災害が多く、最近では1月1日に能登半島地震が発生し、住宅を含む多くの建物が被害を受けるとともに、地域の人々にとってはこれまでの生活が一転した過酷な生活を送らなければならない状況が生み出されました。

災害への備えてよく聞くものとして「自助・共助・公助」がありますが、「自他共栄」の精神は、共助に当てはまるものと考えられます。

釧路をはじめとする道東沿岸部に目を向けると、近い将来、千島海溝沿いの巨大地震が発生することが予想されており、そのような災害が発生した場合には人口減少が加速的に進み、企業も活動が停止し、中小企業では廃業に追い込まれることが想定されます。

被災のダメージを少なくするためには、被災しないように事前に準備をしておくことが大事なのですが、ほんとに来るかどうかわからない大地震や大津波に対して1企業だけで準備を進めることは勇気のいることです。志を同じくする企業同士が普段からのお付き合いを通じて信頼関係を構築し、助け合うことが重要となり、これが「自他共栄」や「共助」の精神に結び付くものと思います。

会議室等の貸出について

釧路工業技術センターでは、数名～120名位までご利用可能な会議室やパソコンが備えつけられている部屋の貸出を行っております。会議室の広さ、備品、ご利用用途によって金額が異なりますので、[ホームページ \(https://www.senkon-itc.jp\)](https://www.senkon-itc.jp) での確認、または、[電話 \(0154-55-5121\)](tel:0154-55-5121) にてお気軽に問合せ下さい。ご予約は電話の他、[オンライン予約 \(https://booking.spacepad.jp/provider/38555/spaces/\)](https://booking.spacepad.jp/provider/38555/spaces/) でも承っております。



INPIT 北海道知財総合支援窓口 釧路サテライトについて

無料

INPIT北海道知財総合支援窓口釧路サテライトが当センターに併設されています。本サテライトでは、札幌にいる相談員がテレビ会議システムを通じて知的財産に関するご相談に応じますので、知的財産権に関するお悩み事をお持ちの方は、是非、ご活用下さい。

TEL : 0154-55-5121 E-mail : chizai@jiii-h.jp
H P : <https://chizai-portal.inpit.go.jp/madoguchi/hokkaido/>

令和5年度相談受付・利用状況 (令和5年4月～令和6年3月)

地域別相談状況

[単位：件]

	釧路市	釧路町	厚岸町	浜中町	標茶町	弟子屈町	鶴居村	白糠町	根室市	別海町	中標津町	標津町	羅臼町	その他	合計
相談件数	653	29	7	38	1	16	4	32	9	6	28	33	3	82	941

相談内訳

[単位：件]

区分	新規	継続											合計	
	379	562											941	
方法	来所	往訪	その他											合計
	451	217	273											941
目的	受発注関係	技術関係	経営関係	創業関係	企業訪問	その他						合計		
	50	804	26	2	0	59						941		
業種	製造	建設	卸売・小売	サービス	木製品	農林水産	情報通信機器	学術研究	行政	その他			合計	
	323	46	51	187	81	23	51	21	84	74			941	
技術分野	機械金属	木工	情報通信	電気電子	化学	塗装	エネルギー	食品	CAD/CAM	その他			合計	
	314	224	73	3	58	6	16	49	41	157			941	
産業分野	環境エネ	建設	農業	水産	食品	福祉	林業	情報通信業	学術・技術業	その他			合計	
	14	46	41	174	100	0	22	73	6	465			941	

釧路工業技術センター利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
機器利用	件	41	56	52	102	100	69	75	58	52	74	64	47	790
	依頼試験	6	13	4	15	40	0	0	15	8	24	17	16	158
会議室	件	42	30	34	33	30	46	38	46	16	37	28	25	405
	人	498	386	578	416	451	552	408	869	230	407	347	274	5,416